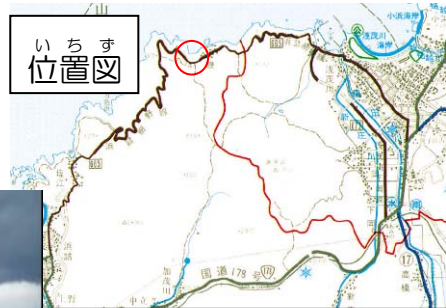
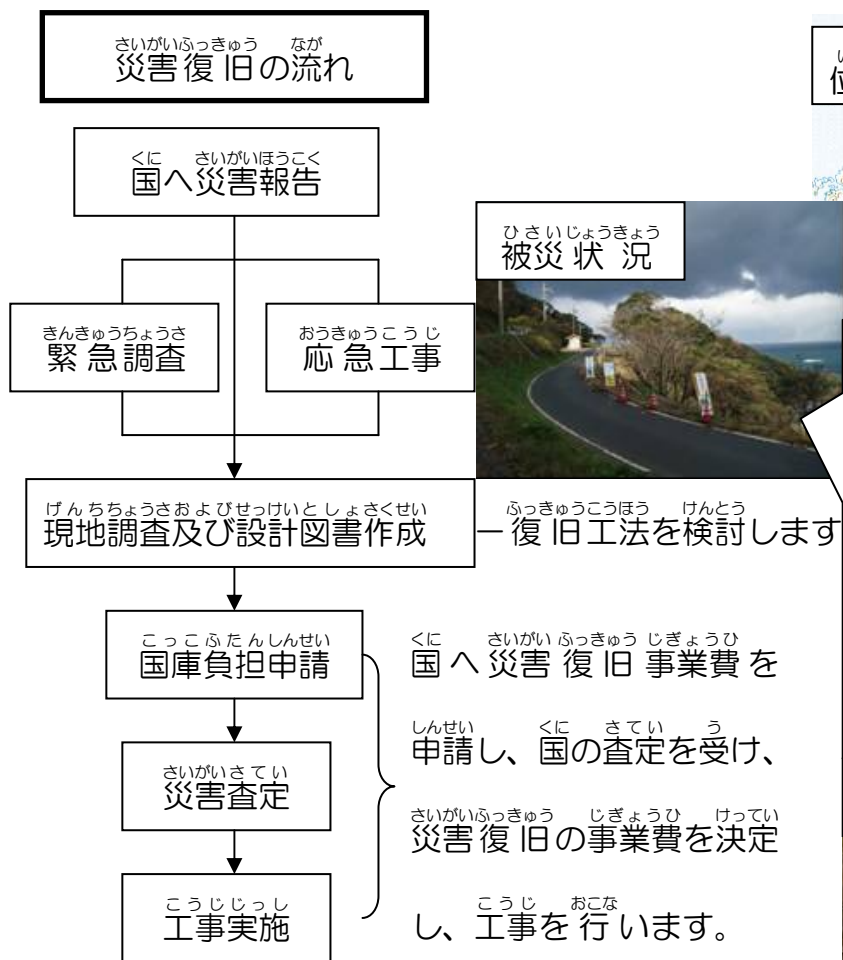


安心・安全な道づくり 道路の災害復旧事業

事例：浜詰網野線（京丹後市網野町磯）災害復旧事業

浜詰網野線は、浜詰と網野を結ぶ一般府道であり、静神社や磯・塩江区の集落と国道178号を結ぶ主要道路ですが、平成18年7月15日～19日の梅雨前線豪雨時に、海側の法面が沈下し、過去の災害復旧（昭和60年）で施工した鋼管杭が露出し、海側に多数の滑落崖が生じました。この地滑りは進行中で早急に復旧しなければ、道路崩壊のおそれがあったため、道路崩壊による通勤・観光等への被害を未然に防ぐために、復旧工事を実施しました。



道路下被災状況
(道路崩壊のおそれ)



道路や河川などの公共施設が台風などの自然災害で被害を受けたら、「災害復旧事業」の制度を活用するなどにより、皆さんが安心・安全な生活を送れるよう速やかな対応を行います。